

40～74歳のあなた！ 特定健診、もう受けましたか？！

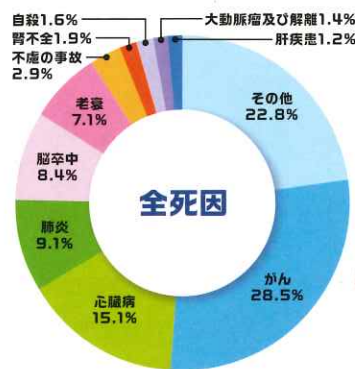
佐賀県医師会・佐賀県健康づくり財団

ご存知ですか？

がん、心臓病、脳卒中などの生活習慣病が、日本人の死因の約6割を占めています。

特定健診の目的は、発症する前に異常に気づき、生活習慣を改善することで生活習慣病を防ぐことです。

にもかかわらず、特定健診の受診率は低い



厚生労働省《平成28年 人口動態統計》



なんでだろう!?

太っていないから、大丈夫

やせていても血圧や血糖値が高いと動脈硬化から脳梗塞になるリスクを高めます。



元気だから、大丈夫

生活習慣病は、進行するまで自覚症状がありません。健診を毎年受けることで、検査値の小さな変化を確認することができ、自覚症状のない病気を早期に発見できます。



病院に通院中なので…

特定健診は、通院している方も対象です。通院中の病気以外の異常を発見するきっかけになります。健診の受診について、一度、かかりつけ医にご相談ください。



時間もお金もかかるでしょ…

病気になってしまうと、治療に時間やお金がかかってしまいます。健診は年1回、半日程度で無料または一部負担で受けられます。



現在、各種の健診(検診)が実施されています。病気の予防、早期発見・早期治療につなげるため、是非、各種健診(検診)を受診しましょう。

健診(検診)には、学校が実施する「児童生徒の健康診断」、事業主が実施する「事業者(企業)健診」、健保組合や市町等の医療保険者が実施する「特定健康診査」(以下、「特定健診」という)、後期高齢者広域連合が実施する「後期高齢者健康診査」、市町が実施する「各種がん検診などの健康診査」などの種類がありますが、今回は「特定健診」についてご案内します。

特定健診とは、生活習慣病の予防のために、40歳から74歳までの方を対象に行われているもので、市町や近隣の医療機関などで気軽に受診することができます。受診されていない方はご自身が加入している医療保険者(自営業の方は市区町村へ、会社等へお勤めの方(被扶養者を含む)は、お勤め先)までお問い合わせ下さい。

健診を受けずに異常を
放置するとどうなるの!?

このような病気を発症するおそれがあります。

脂質異常症

血液中の脂質のバランスが崩れ、ドロドロ血液の状態になり、動脈硬化を進行させ、脳卒中や心臓病の原因となります。

循環器病(心臓病、脳卒中)

動脈硬化などで血管が詰まったり破れたりし、それが原因で起こる脳卒中や心臓病などをいいます。死亡や寝たきりの原因になります。

高血圧症

高血圧の状態が続くことで動脈硬化が進行し、脳卒中や心臓病を招きます。

腎臓病

腎臓の働きが悪くなります。腎臓の機能は一度失われると回復しないことが多く、放置すると慢性腎不全になり、進行すると人工透析や腎臓移植をしないと生命にかかわることもあります。

糖尿病

高血糖の状態が続くことで血管や神経が侵され、失明や腎不全、壊疽(足指の切断などの原因に)などさまざまな合併症を招きます。

肝臓病

肝臓の組織が傷つき炎症などの障害を起こします。放置すると肝硬変や肝がんに進みます。

やばいかも!?

そうなの!?

ドキッ!

特定健診って、どんな検査が
受けられるの!?

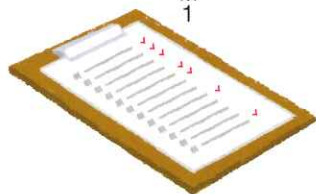
必須項目

- ◎ 質問票(服薬歴、喫煙歴等)
- ◎ 身体計測(身長、体重、BMI、腹囲)
- ◎ 理学的検査(身体診察)
- ◎ 血圧測定
- ◎ 検尿(尿糖、尿蛋白、(尿潜血※1))
- ◎ 血液検査
 - 脂質検査(中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール)
 - 血糖検査(空腹時血糖、やむを得ない場合は随時血糖)
 - ヘモグロビンA1c※1
 - 肝機能検査(AST、ALT、γ-GTP)
 - 血清尿酸※1

詳細な健診の項目※2

- ◎ 血清クレアチニン検査(eGFR)※1
- ◎ 心電図検査
- ◎ 眼底検査
- ◎ 貧血検査(赤血球数、血色素量、ヘマトクリット値)

※1 佐賀県の研究事業実施項目
※2 一定の基準のもとで、医師が必要と認めた場合に実施されます。内容は、市町村により異なる場合があります。



特定健診 受診の流れ

- ① 予約する
案内や受診券が届いたら、健診機関や健診実施医療機関に健診日の予約をします。
- ② 受診する
保険証と受診券を持って、特定健診を受けます。受診にかかる時間はおおよそ半日程度です。
- ③ 結果を受け取る
健康に役立つ情報とともに、健診結果・メタボ判定などが通知されます。
- ④ 対象者には特定保健指導が行われます
生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善で予防が期待できると判定された方には、専門家によるサポートやアドバイスが行われます。



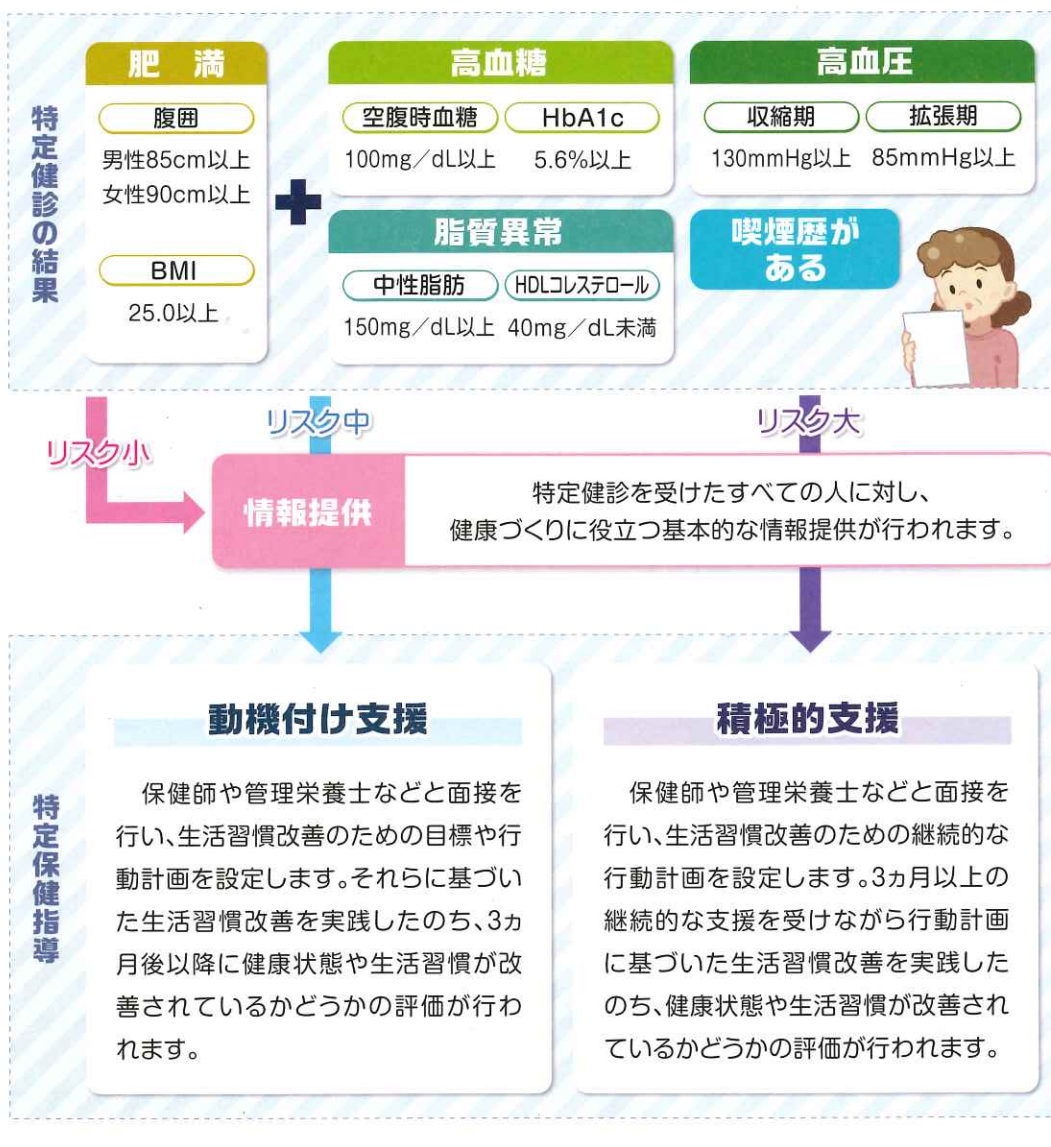
特定保健指導
対象者は
必ず受けて
下さい!!



大切なのは、健診を受けたそのあと…。

生活習慣病を重症化させないためには、まずは、健診を受けて、早期発見！
 保健指導の対象となった方には、保健師や管理栄養士等の指導を無料で受けられます！！
 保健師や管理栄養士と一緒に生活習慣の改善に取り組みましょう。

特定保健指導対象者はこのように選定されます



特定健診は、お近くのかかりつけ医療機関でも受けられますよ！（※一部除く）

また、市町の実施する総合健診では、がん検診と一緒に受診できる場合もありますので、ぜひご利用して下さい！！
 （詳しくは、医療機関やお住まいの市町にお問い合わせ下さい）

〓 特定健診受けるぞー！！〓



診療報酬ってご存知ですか？

診療報酬って何？

診療報酬とは、保険診療で行われた医療行為に対する国で定められた単価として公的医療保険から病院・診療所・調剤薬局などに対して支払われる報酬です。

患者さんは、医療費として料金を支払いますが、そのうち※3割（年齢や所得によって異なる）を病院や調剤薬局の窓口で支払い、残りの7割は加入している国民健康保険や全国健康保険協会、健康保険組合などから支払われる形になります。

※小学生未満・70～75歳は負担2割、75歳以上（一般的な所得者）は1割。

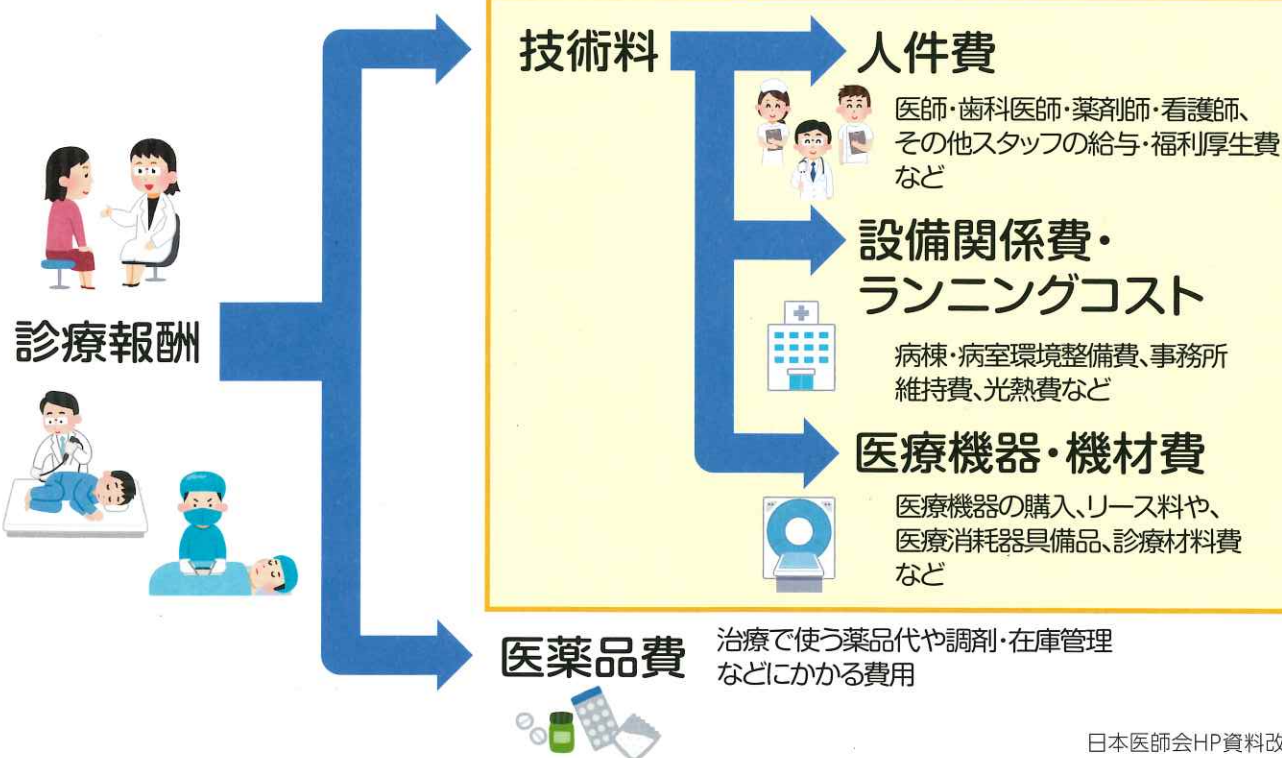
診療報酬＝
医師の収入？



診療報酬の仕組み

診療報酬は技術料と医薬品費からなっています。そのうち技術料には医師、看護師等、医療従事者の人件費だけでなく、医療機関を経営・運営する設備関係費・ランニングコストや、医療機器の購入・リース料、機材費等も含まれています。

中には、診療報酬って全部医師の収入になるんでしょ？と思っていた方もいると思います。しかし、先に述べましたように診療報酬の中には色々な費用が含まれており、医師の収入に充てられるのは一部だけで、診療報酬＝医師の収入ではありません。



日本医師会HP資料改編